|  |
| --- |
| **近畿ブロック統計指導者講習会について**大阪府総務部統計課 情報分析グループ《詳細は大阪府ホームページに掲載しています。<http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/jyugyoudukuri/index.html> 》 |

統計トピックス

国・大阪府では、府民の統計への関心と理解を深め、統計調査への協力の確保・推進を図るための取り組みのひとつとして、大阪府教育委員会の協力のもと、府内小中高等学校の児童・生徒に対する統計教育の充実を支援するべく、教職員向け統計研修を実施しています。

今年度は、近畿ブロック統計指導者講習会（福井県、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、大阪府）として開催します。

**１　取り組みの背景**

　学習指導要領において、「生きる力」の醸成が掲げられ、算数・数学に限らず、幅広い教科で統計学習の拡充を図り、教科等を横断した課題解決的な学習や探究的な活動の充実が求められています。

　一方、平成26年３月に総務省が策定した「公的統計の整備に関する基本的な計画」では、「教育現場においては、学習指導要領の改訂もあり、統計教育に関する関心は高まっているものの、具体的な指導方法に苦慮しており、実践的な教材の作成や情報提供、教師への研修の充実等が必要」との課題認識が示されています。

これらを踏まえ、平成26年９月に総務省が創設（平成28年４月改正）した「統計調査の環境改善のための普及啓発事業」の中で、教職員を対象とした統計講座が都道府県知事の実施する事業として明記されたことを受け、大阪府においても取り組んでいます。

**取り組みの背景**

**○学習指導要領＜抜粋＞**

**（小学校：平成23年4月～、中学校：平成24年4月～、高等学校：平成25年度入学生から）**

　　新学習指導要領・生きる力（改訂の基本的な考え方）＜抜粋＞

　　　○ 教育基本法の改正等で明確になった教育理念を踏まえて教育内容を見直します

　　　　＜教育の目標に新たに規定された内容＞

　　　　　・能力の伸長、創造性、職業との関連を重視

　　　○学力の重要な3つの要素を育成します

　　　　　・知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力をはぐくみます

　　　「ゆとり」か「詰め込み」かではなく、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の

　　　育成との両方が必要です。

　　【思考力・判断力・表現力等の育成の重視】

　　　教科等を横断した課題解決的な学習や探究的な活動を充実します

**○公的統計の整備に関する基本的な計画**

**（平成26年3月25日　総務省統計局）＜抜粋＞**

　統計リテラシー等の向上

　　　初等教育から高等教育に至るまでの各段階に

　おいて、統計リテラシー（※）を重視した統計教育や

　統計教育等を通じた統計倫理の醸成が重要である。

　　　教育現場においては、学習指導要領の改訂も

　あり、統計教育に関する関心は高まっているものの、

　具体的な指導方法に苦慮しており、実践的な教材

　の作成や情報提供、教師への研修の充実等が必要。

統計調査の環境改善のための普及啓発事業(H26.9～)

**国（総務省）の取り組み**

**（目的）**

　事業は、国民の個人情報保護意識や事業所・企業における情報管理意識の高まりに伴い、調査環境が厳しさを増す中、児童及び生徒に対する統計教育の充実、地域分析活動を通じた統計の有用性や重要性に係る普及啓発により、国民の統計への関心と理解を深め、統計調査への協力の確保・推進を図ることを目的として実施する。

**（都道府県知事が実施する事業）**（略）

(1)統計教育に関する事業

　ア　講習会等の開催

　児童及び生徒の統計指導に携わる教師等に対して、統計への理解を深めさせることを目的とした講習会等を開催する。

イ　教育関係者等の派遣

　総務大臣又は都道府県知事が実施する事業その他普及啓発事業の目的を達成するために効果的と認められる事業に、教育関係者及び統計教育を担当する者を派遣する。

※統計リテラシー：

統計の有用性を理解し、統計データを活用していく能力

**２　大阪府における取り組み内容**

（１）平成27年度開催実績

****

○アンケート結果について

アンケートでは、「あなたの期待や要望にこたえた講座であったか」の問いに、小・中学校コース94％、高等学校コース85%の方々から肯定的な回答を得ています。

　＜受講された教職員の皆様のご感想＞

　　小・中学校コース

　　・以前から必要性や重要性を感じていたので、第一線で活躍されている先生の講義を受けることができ、有意義な時間となった。もっと時間があれば、ある資料からそれぞれがグラフを作成し、機能を高めることもしたかった。

　　・統計教育の必要性・重要性について、批判的思考ができることの意味やエビデンス（証拠）に基づく主張について、私自身がよく理解できた。実践的な力がつく研修だと感じた。

　　・もう少しテーマを絞ってから、そこからいろいろな班別の意見が聞きたいと少し思った。他の学校の先生や、校種の異なる先生と意見交流ができてよかった。自分自身、統計学を学ぶ必要性を少し感じた。ワークショップでは自分も生徒になった気分だった。

高等学校コース

　　・統計の専門家にコメントいただくという貴重な機会を与えていただいて、ありがとうございます。どういう視点で考えるかという見方の一端を教えていただいた。個人的には相関についての指導案を考えてみたかったが、時間的にむずかしく断念した。

　　・グラフや統計に関しては時間をとって学ぶことがないので役に立った。授業でもいろいろな切り口から使っていきたい。

　　・午前中、講義と共に実際にエクセル等を使って実習もあればよかった。相関や中央値の出し方などの技術的なところの講習があれば、ぜひ参加したい。

○研修の成果

　　　ワークショップでは以下をはじめとする指導略案等を作成いただきました。

・小学校　高学年＝算数学習指導略案、グラフ・統計表データ

・中学校　第３学年＝数学科学習指導略案、教材データ（ワークシート）

　　　　　　　　　　　　　　グラフ・統計表データ

・高等学校　第１学年＝総合学習指導略案、教材データ（ワークシート）

　　　　　　　　　　　　 　　グラフ・統計表データ　　　　　　　　　　　　他

大阪府ＨＰでも、これらを公開しており、教職員の皆様の利活用促進及び普及を図っています。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　<http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/tokeikyoiku/index.html>

**大阪府　統計教育**

**検索**

（２）平成28年度開催概要

　　　**受講者募集：平成28年７月22日（金）まで。受講申込は大阪府ＨＰをご確認ください。**



平成28年度 近畿ブロック統計指導者講習会　シラバス

３．研修課題とねらい、タイムスケジュール等



